

# 後援会だより

事務局 〒960-1296 福島市金谷川1 福島大学理工学群共生システム理工学類内 Tel&fax 024-548-8176

## ご挨拶

福島大学 共生システム理工学類  
後援会会長 富田 康男



後援会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から後援会活動に関しまして、ご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。これまで、後援会の情報については、共生システム理工学類の

ホームページから見る事が出来ましたが、この度、紙面による『後援会だより創刊号』を発行するに至りました。つきましては、さらなるコミュニケーションの向上により会員の皆様のお知恵をお借りし、一緒に本学類の発展と、学生の皆さんが、より充実した学生生活を送れますように、環境づくりなどの支援活動に注力をして参りたいと存じております。

さて、皆さんも新聞各紙上などで既にお気づきのことと思いますが、『新生福島大学 共生システム理工学類』発の研究や取り組みが連日取り上げられております。例えば、「ドーパミン遮断・自発的行動抑制の実証」、「日本初、介助ロボットの開発」、「ナノテク・超微細研磨装置の開発」、「微生物で新製剤」、「環境ホルモン測定に革命」等々紹介し切れないほどであります。さらには「産学連携技術ゼミナール」や「おもしろ科学実験」、「市民公開講座」等々地元大学として市民や地域企業向けの講演会や講義など精力的に活動されております。また一方では、来春竣工予定の研究・実験棟建設工事の中でも、本来は廃棄処分されるべき掘削残土を、学内の馬場拡張埋め立て用の土砂として有効にリサイクル活用されております。これは環境保全の観点から運搬による化石燃料の節約とそれによる二酸化炭素の削減に貢献されるなど、まさに本学類の理念である『人と産業と環境の共生』による持続可能な社会の実現へ、積極的な取り組みを身をもって示されている先生方および大学スタッフの皆様のご努力に、さらなる頼もしさを感じ、心より敬

意を表したいと存じます。

次に、皆さんご期待の研究・実験棟は、地盤整備が完了し、いよいよ建設工事が本格化するところでありますが、第2セメスターを迎える学生諸君もこの時期に地盤固めである基礎的な学習をきっちり修得し、将来へのビジョンをより具体化するためのステップアップを図ってもらいたいと考えます。あの危機的状態にあった日産自動車を見事に復活させたカルロス・ゴーン社長は、『日産復活のカギは、将来の方向を示すビジョンを明快にしたことである。』と述べておりますが、これは学生諸君の将来を見据えた行動にも示唆を与えるものと考えます。私たちを取り巻く状況は、日常的にも経済的にも大変厳しいものがあります。求職活動も就労もしないニートと呼ばれる若者やフリーターの急増、また今まででは考えられなかったような大企業の不祥事などが、毎日のように新聞・テレビのニュースを賑わしております。しかし、共生システム理工学類の学生諸君ひとりひとりが自らの将来の方向を示すビジョンを明快にし、これらの社会環境の変化にたじろぐことなく、明るく元気に立ち向かっていく人間になれるよう心から願うとともに、当後援会活動の中で何らかの力になることが出来れば幸いと考えております。これからの後援会活動を円滑に運営するためには、何よりも会員の皆様のご理解とご協力がなくては不可能であります。大学の活動にご関心をお持ち頂き、



清野副会長

多くのご意見やご提案をお願いいたします。最後に、福島大学共生システム理工学類ならびに後援会の益々の発展と、会員皆様のご健勝を祈念し、ご挨拶いたします。



浅田幹事

なお、後援会としては、4月7日の総会で承認されました役員として、副会長に清野好江氏、幹事（監査）として浅田英治氏の両氏の協力のもとで運営されております。

## 「学ぶことを楽しめる 教育支援環境を目指して」

共生システム理工学類長 入戸野 修



7月13日のサンドウィッチパーティーでは、次のような話をしました。

「90分の講義に慣れましたか？理工学類は他学類の学生よりも講義数が多いので、不満を持っている人もいます。でも、アリとキリギリスの話の思い出して下さい。みなさんはどちらを選ぶのでしょうか？また、人とチンパンジーでは外見は極めて

違いますが、DNAの遺伝子情報の観点からは、1～2%だけの違いだけです。『生き物』は楽な方向に、できるだけeasy goingな生き方を求めます。しかし、『考える輩』である人間は、時間がたくさんあり、柔軟な考え方でできる学生時代に、将来に向けて自分を鍛えておくことも重要です。まして、来週から試験が実施される時でもあります。是非、入学した時の『初心』に戻って知的好奇心を大いに高めてください。ところで、先日の新聞に“大都会の大学生は『自信力』が低下している”と載っていました。現在の大学生は充実した学生生活を

送りたいと思っているが、迷いや不安があり、他国の中学生よりも自信がない。また、勉強時間が少ないと自信力も低い、とありました。『自信力』とは、自分を肯定的・積極的に受け入れる自尊感情であり、『個性』とは、自分自身の考え方を持つことです。自然にも恵まれている福島大学の学生は、まさかそんなことはないと思いますが、心配ですので、皆さんに試験に向かって自信力を持っていただきたく、『科学おもちゃ』をお見せします。」と言うことで、みんなの向上心を煽る「登るやればできる君」と、自分をしっかり見つめると「自信」につながるという「科学からくり」を披露した。

大学での1～2年間は一生の時間に比べると極めて短いものです。しかし、この時期の教育は、個々の学生が一生を掛けて磨き上げる教養の種を植え、苗を育てる場です。思考が柔軟なこの時期に、偏見を持つことなく、異なる知の領域（ディシプリン）を広く、かつ深く理解して欲しい。そして、専門基礎学を学ぶことで通じて、科学や技術と社会の関わりについて関心を高め、高学年ではさらに理解を深めて欲しいと願っています。学生たちの元氣な活動を見守りながら、教育支援環境の早期完備に腐心しているこの頃です。



7月13日のサンドウィッチパーティーで全員集合

## 学生生活支援便り

学生生活委員長 黒沢 高秀

学生生活委員会は学生生活（学習面を除く）の支援を任務とする委員会です。紙面をお借りして、後援会の皆様へ共生システム理工学類の学生の動向、学生生活上の注意などをお知らせしたいと思います。

【大学祭のご案内】福島大学生による「第41回福大祭」が今年も行われます。11月5日(土)および6日(日)は一般公開の日です。例年学外からも多数の方が訪れ、学生達の発表やパフォーマンス、模擬店などを楽めます。学生生活の一端を知ることのできるよい機会ですので、ぜひお越し下さい。

【学類学生の動向】幸い今のところ大きな事件、事故は起きていません。大学構内で数件の事故や急病がありました。近くにいた学生達および通報で駆けつけた職員らの適切な処置により、大事に至りませんでした。万一の時の連絡先や連絡方法の周知に今後も取り組んで行きたいと思っております。

【大学への相談】夏休みも終わり、学生生活に関わっているりと問題や心配事が生じてくることもあるかと思えます。学生生活全般は「学生課」、学生課などに相談しにくいことは「学生総合相談室」で相談を受け付けています。基本的には本人から直接相談するのが好ましいケースが多いと思えますが、父兄の方等からの相談も可能です。学生生活上の問題（対人関係、生活上の問題など）、健康上の問題、メンタルヘルス上の問題、寮生活上の問題で相談したい、あるいは教員との間でトラブルがあるようだ、アカデミック・ハラスメント被害、ストーカー被害、セクハラ被害などにあっているようだ、学費納入が困難になった、カルト宗教や不審な団体から勧誘を受けているようだ、悪徳商法の被害にあっているようだ、無理に酒を飲まされて困っているようだ、本人と連絡が取れない、等の場合はご相談下さい。

学生課（電話024-548-8028）受付時間：月～金 9：00～16：30（時間外でも可能な限り対応します）

学生総合相談室（電話024-548-5156、024-548-8058、電子メー

ル g039@ipc.fukushima-u.ac.jp）開設日等：月・水・金に開設しますが週によって異なります。詳細は学生課にお問い合わせ下さい。

【カルト宗教被害の予防】福島大学は、幸いなことに他大学に較べてカルト宗教による大きな被害が少ない状況が続いてきました。とはいえ毎年のようにキャンパス内や周辺地域にその影が見られます。最近の特徴として、福祉ボランティア、環境ボランティア、国際友好団体・サークルを巧みに装ったものが出現していることがあげられます。宗教色を全く隠して実際にそのような活動を活発に行っている場合もあり、一般に学生や教職員が短期的に識別するのは困難です。

どれか一つでも次のような場合に当てはまるような団体・サークルに所属しているように思える場合は、気づいた時点で学生課、学生総合相談室に相談または連絡をお願いします。なお、大学公認サークルの場合は心配ありません。

(1)福祉ボランティア、環境ボランティア、国際友好団体に入っているが、学習会でこれらとは直接の関係がないこと（「現代文明の墮落」「真理の追究」「理想世界」）を学習しているようだ。(2)学習会や長期の合宿で意味の不明なあるいは宗教関係のビデオをみたり、講演を聞いたりしているようだ。(3)「福祉施設で作った〇〇」「環境に優しい××」「貧しい国の子供を救うための〇〇」などの訪問販売をしているようだ。(4)無言電話、中傷ビラの配布などを行っているようだ。(5)講義等があるときも活動を強要されているようだ。休もうと思った時なかなか休ませてくれないようだ。抜けようと思った時なかなか抜けさせてくれないようだ。(6)家族や大学を信用しないように言われたようだ。あるいは家族や大学に連絡や相談をしないように言われたようだ。

【学生課を名乗る不審電話】7月に本学の他学部学生の複数の保護者に「福島大学学生課の〇〇ですが、××さんの進路のことで…」と言って、個人情報聞き出そうとする不審電話がありました。学生課では緊急な用事で学生と連絡が取れない場合以外で、保護者に連絡することはありません。また連絡する場合でも学生の所属や氏名、用件をハッキリ伝えることとしています。学生課を名乗った不審な電話にはくれぐれもご注意下さい。

# 学生代表として頑張っています！

— 共生システム理工学類学生自治会のご紹介 —



## 執行委員長 佐藤 勝

理工学類からも新しい学生組織が創立するにあたり、その会長を私が務めさせていただくこととなりました。スタートしてからというもの、日々他学類の先輩方並びに教職員の方々からは協力や助言、時には叱咤激励を受けながら任にあたっています。そして、前期には初めての理工学類の総会を無事に終了することが出来ました。

正直、私は大学の組織というものあまり理解しておらず、また何かの団体の代表になった経験も無いので、大学での学業と自治会での活動を両立させることが難しく、至らない点がありご迷惑をおかけする事もありました。今後きちんと出来るように努力し、より良い活動を行なえるようにしていきたいのでどうかよろしくをお願いします。

自治会は出来たばかりということもあり、他学類にみられるような独自の行事というものはまだありません。また、学生の中でも新しく入ってこられた先生方との関わりがあまりありません。そのため少々混乱が起こることもあるようです。

これから私たち自治会一同はそういった学生同士や教職員の方々とのつながりや学生生活の向上のため活動し、もっと学生達に認知されるように自治会を発展させていきたいと思えます。

## 副執行委員長 関谷 雄史

入学当時の私は今までに経験していないことをしてみよう、そうして行くうちに自分が見えてくるはずだ、と考えていた。経験していないことの一つが自治会の役員だった。自治会の仕事は発見の連続だった。実際にやってみて、確かに自分が見えてきたと思う。ただ、良いところはほとんど見つからなかった。私には足りない部分が多く、そのせいで多くの人に迷惑をかけた。反省を活かし、これから副委員長としての役割をできる限り果たそうと考えている。また、自治会を開かれたものにしていきたいと考えている。友人に、「自治会ではなにをやっているのか」と聞かれたことがある。どのような活動をしているのかわかるように以前よりも掲示等を充実させていきたい。

## 会計 鈴木 聡

福島大学理工学群の生徒たちは自治会の入会金と自治会費という形で私たち自治会の費用を支払っております。この費用は主に会計が管理しており、統一サークル連合や大学祭実行委員会などの理工学群自治会公認団体の活動資金にします。他にも学生総会の運営費やコピー機の使用料などもこれによって支払われます。また、設立したばかりなので活動で使うコピー機のリース代やパソコン、文房具などを新たに購入しなければいけません。しかしこの点は、学生課や周りの学生たちの理解と協力もあり、自治会は無事、好スタートをきることができました。

## 広報 青柳 輝彦

こんにちは!!理工学類自治会・広報担当です。私たちの主な仕事は自治会で決定したことを学生に伝える為に、資料や掲示物(たて看板など)の作成を行っています。前期の活動で一番苦労したのは、学生大会の規約資料とたて看板の作成だったと思います。全てが初めてのことで戸惑ったり、ミスがあったりとの連続で学生大会が開けないじゃないか...と思ったほどです。しかし、先輩のいない私たちを手取り足取り指導して下さい、陰から支えて下さった人間発達文化学類自治会の先輩方のおかげで、何とか運営することが出来ました。



まだ自治会そのものが出来たばかりで、私たちも足元がおぼつかない状態で活動しておりますが、いつの日か胸を張って「理工学類自治会の礎を作ったのだ」と言えるように活動していきたいと思っています!!

## 渉外 丹治 寿人

自治会の渉外という役職は、自治会からの連絡や学生のためのイベントの連絡をクラス代表にメールを送るということが一番の仕事です。前期では総会や立食パーティーの参加を学生に促しました。また、教授の予定等を聞き教授と学生の交流の場をつくりました。理工の自治会には一年生しかいないですが、これからも自治会の一員として理工の学生に連絡などを正確に伝え、渉外の仕事を頑張りたいです。

## 書記 工藤 由貴・細川 聖良

書記は、本会の記録及び様々な文書の清書を行うことを職務とします。例としては週一回の定例会での記録や総会での議事録が挙げられます。また、他の話し合いの場で活動する場合も含まれます。

今までで一番の仕事は、理工学類の総会での議事録でした。初めての公での仕事は少し緊張しましたが、皆の協力で大きな問題もなく終えることが出来ました。理工学類は新しく設立された学類であるため、全て私たちが作っていかねばならぬ大変なことが多いですが、これから自分たちで自治会を形にしていきたいと思えます。

\*\*\*

## ● 川柳でわかる一期生

2005年4月13日入戸野学類長による新入生向けの講義が実施されました。その中で、現状を川柳で表現する課題が出されました。自分の進路や、大学に対する思いなど貴重な学生の思いが込められていますので実状を知っていただくために、ここでそのいくつかをご紹介します。

大学に進学した気持ちや現状の気持ちを表現した川柳に

- ・ 将来の 仕事のために また勉強
- ・ 人生の 自己実現の 通過点
- ・ 夢いっぱい 入ってみれば 苦勞いっぱい
- ・ 卒業後 大学院に 行きたいな
- ・ 将来の 夢をかなえる 一段階

入学生の多くが、大学は大変だけれど一生懸命やろうとする気持ちがよく表れている川柳が多く、真剣にまなぼうとする様子が伺われます。

また、授業に関する川柳では、

- ・ 講義中 講師一人が 楽しそう
- ・ 講義中 眠気と戦い 意識無し
- ・ 想定外 週20コマ たえられない
- ・ 90分 長さをやっとなら 理解する
- ・ わからない 講義の先生 宇宙人
- ・ 実験を 早くしたいな 白衣着て
- ・ ネイティブの 先生日本語 超上手
- ・ 理工学 いそがしすぎて 遊べない
- ・ 期待より 不安が募る 一期生
- ・ サークルを 楽しみたいが 基礎学習
- ・ 他学類 講義5コマ目 無いと聞き

共生システム理工学類では、高校の物理、化学、生物、微分、積分等に関する補修を5コマ目を使って実施しています。サークル活動が十分できない悩みや、大学の授業、授業内容に関する



る不安や不満が表現されています。授業内容等については、学生の授業評価等を参考に改善を重ねていますが、何よりも各自の自覚がなければこのような制度も生かされません。

一方、大学生活に関する川柳では、

- ・ 講義より 難しいのは 人付き合い
- ・ 一限目 朝は眠くて 出たくない
- ・ 自分から 進んで行動 大学生
- ・ アルバイト 早く始めて 金欲しい
- ・ 大学生 みんなオシャレで 困ったな
- ・ 忙しい サークル 勉強 アルバイト
- ・ 帰りたい ホームシックな 18歳
- ・ 母親の ありがたさわかる 一人暮らし
- ・ 大学生活 理想と現実 大違い
- ・ 寮生活 思っていたより わきあいあい
- ・ 食料が ピンチになったら カップメン

新しい環境での生活が、さまざまな観点から表現されています。一人暮らしの夢を描きながらも、その大変さに親を思う気持ちなどが表現されています。大人への第一歩、私たちが応援したいと考えております。

\*\*\*

### 福島大学理工学群共生システム理工学類 同窓会準備会からのお知らせ

平成17年度の入学手続き時期に諸会費納入事務局で「共生システム理工学類同窓会（仮称）」の4年後に向けた同窓会準備経費、および、全学の「福島大学同窓会」分担金として各自1万円（他学類3万円）を徴収いたしました。このたびは同窓会より分担金（10万円）の納入依頼がありましたので執行させていただきます。ここに報告いたします。

同窓会準備会事務局 渡邊 明

## いま共生システム 理工学類では…

（編集後記にかえて）

福島大学理工学群共生システム理工学類では、見える大学をめざして、さまざまな広報活動をしています。特に、後援会活動では、ホームページ（<http://www.sss.fukushima-u.ac.jp/>）を開設し、その都度保護者の皆様に大学の動きが見えるよう努力しております。しかし、情報化社会とはいえ、全ての家庭でインターネットが使える環境ではありませんので、このような「後援会だより」を年2回、9月と3月に発行することに致しております。大学の様子をご理解戴き、また、ご意見等ありましたら事務局までお寄せください。

さて、現在学類では9月7日に地鎮祭が開催され、理工学群研究・実験棟の建設が開始されています。2年次生からの実験、実習にこの建物が使われることとなります。また、この研究・実験棟に入れる実験器具の選定、購入も着実に進行しています。新たな施設・設備を活用し、私共が創設時に掲げた「国際性を有する」「文理融合した」「実践力を有する人材の育成」をめざして努力しているところです。

また、現在、大学院設置のための構想案を作成し、「高度な職業人養成」の実現にむけて、検討を進めています。現在の日本の高度に発展した技術社会の担い手を学部4年間での養成ではなかなか困難な現状があります。したがって、それぞれの専門職につくためには修士（2年）程度の力を身につけていくことが必要になっています。現在、年次進行を前倒し、優秀な学生には3年次から飛び級で大学院に入ることが可能なシステムを検討しているところです。

さらに、現在大きな研究プロジェクトが2つ進行しています。人材育成とあわせて理工学類では、社会貢献を1つの大きな柱として考えて、地域や社会に存在価値のある学部を目指しております。高学年ではこうしたプロジェクト研究にも参加しながら、現場での実践力をつける授業も展開する予定です。

学生は、すでに第2セメスターが開始され、大学に入っはじめての成績も受け取りました。是非、同じ世代の子をもつ親として子供の成績を確認しておきたいものです。

最後に、この後援会だよりの題字は入野学類長の筆によるものです。この、のびやかで、和気藹々とした味のある題字にふさわしい活動をしていきたいと考えております。更なるご支援をお願いいたします。

事務局担当 渡邊 明

## 福大祭へお越しください！

### 福大祭実行委員会

今年で第41回となりました福大祭は、大学再編をむかえての初めての学園祭となります。たくさんの学生が参加する3日間にわたるスポーツフェスティバル。また、様々な年齢の方々に楽しんでいただけるよう、今年一般公開日である11月5日(土)、6日(日)には、たくさんの企画を行います。

今年には共生システム理工学類の先生方による講演会を開講します。普段何気なく見過ごしている日常の科学を大変分かり易く興味深く解明してくださいませ。

その他にも「ガガガSP」によるライブ「晩秋の宴 in 福大祭」、各サークルによるステージ発表、屋内展示、豪華な賞品が用意されているウォークラリーなど、見ても参加しても楽しめる企画が盛りだくさんです。各団体による模擬店は約50店舗立ち並びます。当日は我々福大祭実行委員会が誠意をもって対応いたします。ぜひご家族ご友人をお誘いあわせの上ご来校いただけますようお願い申し上げます。

